



学校報

笑顔と挑戦

井川義務教育学校
第 11 号

令和6年12月25日

校訓 青雲大志

ともに学び、挑み続ける児童生徒の育成

年末年始の豊かな体験を子どもたちに

今日で2学期前半が終わり、明日からは冬季休業となります。年の改まる一年の大きな節目ですし、それに伴う年末年始の年中行事などもたくさんあります。みなさんのご家庭では、何にどのように取り組んでいますか。大掃除、餅つき、年越しそば、初詣、春の七草粥など、年末年始にしか体験しない、日本古来の文化・風習について、子どもたちが大人のサポートなしに体験することは難しいでしょう。そもそも経験も知識もないのですから。しかし、そこには日本人が昔から大切にしてきた意味があります。この日本の文化・風習等を時代に合わせて変化させながらも、子どもたちが体験し、理解することは大切なことだと私は思っています。豊かな体験は、心を豊かにし、品位ある人格形成に寄与します。どうか、ご家族で豊かな時間を過ごしていただきますようお願いいたします。

令和6年のご支援、ありがとうございました。令和7年もどうぞよろしくお願いいたします。よいお年をお迎えください。

全校縦割り班集会

12月9日（月）に全校縦割り班集会が行われました。代議委員会が企画した集会です。義務教育学校である本校らしく、1年生から9年生の縦割り班で活動しました。



ジェスチャーをリレーしてお題を当てるゲームや、新聞紙でつくるタワーの高さを競うゲームなど、1年生から9年生が協力して和気あいあいと交流しました。全校の活動を見ていつも思うのは、本校の子どもたちは学年を超えて仲がよいということです。下級生を見守る後期生の優しいまなざしや、後期生を信頼し、安心して活動する前中期生の笑顔など、小中一貫校のよさが凝縮されている幸せな時間です。

井川みらい学 9年発表会

12月12日（木）に、町長さんと井川町産業課長さんをお迎えして、9年生が「井川みらい学」で学んできた国際理解に関わる町への提言を発表する会を行いました。

昨年度までは、町長さんに向けた発表でしたが、今年度は、提言内容に最も関わる産業課を代表して、課長さんが生徒の提言に対して評価やアドバイスをしてくださいました。



台湾修学旅行を体験した9年生が行う、食やスポーツなどを通じた海外との交流イベント、井川町の人口減少問題解消や国際平和につながる人事交流などの提言は、産業課長さんや町長さんに好意的に受け止められたようでした。

以下に、9年生が発表した概要及び提言を紹介します。

1 食がもたらす国際理解

【概要】台湾での食事を通して、食文化がその土地の歴史の影響を受けていることが分かった。他国の人々にも日本の食文化を理解してもらうことで、日本への好感度を上げてもらうことができるのではないかと。

【提言】井川町の食材を使って料理したものを、日本の食事のマナーや箸の使い方を学びながら食べる「日本食を正しく食べる会」を開いてみてはどうか。さくらまつりなどで、他国の人々を招いてこのイベントを行ってみてもよいと思う。

2 台湾に行ってみて気付いたこと

【概要】台湾に行ったことで、他国では食べ物や公共交通機関の利用の仕方、生活環境など、様々な面で日本と違う部分があることが分かった。国際理解を深めるためには、自分から興味をもって他国の文化について調べたり、実際に行き体験したりすることが必要ではないかと。

【提言】さくらまつりなどで台湾の夜市を再現するイベントを行い、海外の食べ物や音楽に触れる機会をつくる。日本と違う文化や考え方に触れたい、互いを理解できるようになり、国際理解を深めることができるのではないかと。

3 オリピックから見た世界

【概要】2024年に開かれたパリオリンピックを見て、スポーツを通して他国の文化や価値観を知ったり、互いの個性への理解を深めたりすることができることに気付いた。スポーツを通して、互いの違いを受け入れ、人々が共存できる世界をつくっていくことはできないかと。

【提言】他国の人や様々な個性をもつ人と共にスポーツを楽しむイベントを、さくらまつりなどに取り入れる。あまり日本では行われない競技やパラリンピックの種目なども取り入れれば話題になり、井川町の町おこしにもなるのではないかと。

4 食は世界をつなぐ架け橋

【概要】世界各国の食文化を調べることで、その国の歴史や国民性、地理的環境が食文化に大きく影響していることが分かった。

【提言】海外から日本に来ている人を井川町に招き、いろいろな国の伝統料理教室をひらいてはどうか。食文化から、他国の文化や人々の価値観を知ることができ、国際理解につながると思う。

5 台湾と日本の違い

【概要】台湾へ修学旅行に行ったことから、日本と台湾の違いに気付いた。国による「当たり前」の違いを理解し合い、互いに尊重し合って平和な世界をつくっていくことが大切だと感じた。

【提言】井川と台湾の間で、ホームステイによる交流を行ってはどうか。互いの国でホームステイをし、互いの生活や文化を知ること、国際理解を深めることができると思う。

6 世界の平和、幸福、そして井川

【概要】戦争や紛争、経済の悪化によって、苦しい生活を強いられている人々が世界にはたくさんいる。日本で働きたいと思っている外国人を井川で受け入れて、井川の問題を解決することはできないかと。

【提言】日本で働きたいと思っている海外の人材を井川で受け入れ、地域に根付いた生活をしてもらうことで、空き家問題や地域文化の継承などの問題を解決するための手立てとしてはどうか。

PTA研修会 アトリオンがやってきた!



12月13日（金）に、PTA研修会「アトリオンがやってきた！」が行われ、全校の子どもたちが穏やかに音楽を楽しみました。これは、アトリオン・ブランドの本格的演奏を学校等に直接「出前」する訪問型の演奏会です。

本校の校歌を一緒に歌いながら、上手に歌うコツを教えていただいたり、保護者の方からのリクエスト曲やスタジオジブリの曲をメドレーで演奏していただいたりしました。子どもたちも手拍子をしたり、一緒に踊りながら歌ったり、リラックスして楽しむ素敵な時間となりました。企画・運営をなさったPTA文化研修部員の皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

収穫感謝祭 (5年)



12月17日（火）に、収穫感謝祭が行われました。この会は、お米が収穫できたという自然の恵みに対する感謝と、学習田での活動をサポートしてくださった方々に対する感謝を示す会です。

子どもたちの豊かな体験は、地域の多くの方々に支えられています。農業委員会、土地改良区、教育委員会、JA、ローカルフレッシュなど、春からずっと5年生を支えてくださった皆様に心から感謝いたします。

9年生を励ます会

12月18日（水）に、「9年生を励ます会」が行われました。高校受験が間近に迫った9年生を全校で励ます集会です。

3年生が花のアーチで9年生を迎え入れて会がスタートしました。プログラムに入る前に、司会の8年生から、2年生と4年生が会場の飾り付けをしてくれたことが紹介され、感謝の拍手が沸き起こったのは素敵な光景でした。



1年生のはじめの挨拶も立派でした。その後、7・8年生が過去の写真クイズやダンスで盛り上げ、1～6年生全員で「ありがとうの花」を歌っている間に、6年生がしおり、5年生がお米を9年生一人一人にプレゼントしました。その後、吹奏楽部の演奏があり、以前にお世話になった先生からのビデオレターが紹介されました。



9年生の発表では、写真クイズをしながら、後輩たちへの感謝の気持ちとエールが送られました。リーダーとして全校を率いてきた9年生の後輩に託す思いが感じられる場面でした。本校は全校の児童生徒の仲がとてもよいのが特徴です。ほっこりと心の温まる時間でした。

さくら咲かせよう集会(9年)

「9年生を励ます会」が終わった午後、「さくら咲かせよう集会」が行われ、地元の佐々木商事さんから、毎年恒例の「さくらアイス」が9年生にプレゼントされました。



また、ゲストとしてAABアナウンサーの高田美樹さんが来校し、子どもたちとフリートークを行いました。トークでは、9年生一人一人の好きなことの発表を受け、好きなことが将来の夢につながるきっかけになることを、高田さん自身の体験を基に話してくれました。

高田さんは小学校4年生でアナウンサーになりたいと思ったそうですが、好きなことにどう関わりたいのかを考えると、必ずしも仕事にする必要はなく、趣味にし続けたいでもよいこと、そして、それが次の好きなことや夢を見つけるきっかけになることなどを穏やかな笑顔でありながら、とても熱心に話してくれました。

30社以上もの不採用を乗り越え、好きなことであるアナウンサーになることを諦めなかった体験談を聞いて、その熱意に感心しました。

最後に、「好きなことを一つでも多く増やしていって、色々な人と出会って、たくさんの経験をしてほしい。そのどれかがどんなに小さな形でも将来につながっていく。」というメッセージを伝えてくれました。

活躍の足跡

【秋田県アンサンブルコンテスト中央地区予選】

12月21日（土）

あきた芸術劇場ミルハス大ホール

○管打楽器8重奏 **銅賞**

8年	※※※※※	※※※※※
	※※※※※	※※※※※
	※※※※※	※※※※※
7年	※※※※※	※※※※※